

さとしゅう

議会だより

No.104

2021.4.30



岡山県 里庄町議会



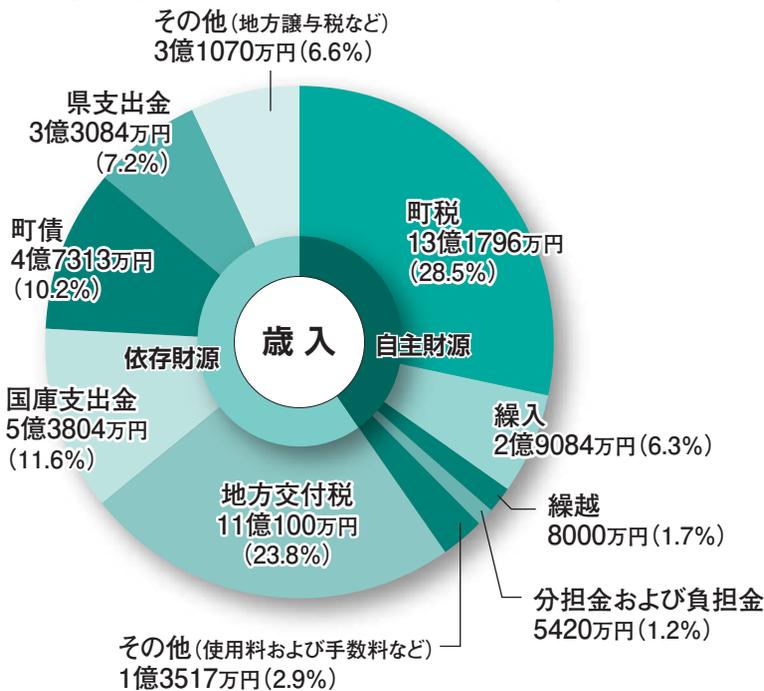
緊張した表情の新1年生

- 令和3年度 当初予算 (2)
- 身近な事業（令和3年度） (4)
- 当初予算への質疑 (6)
- 臨時会（2月24日）実施 (12)
- 町政を問う！（8人が登壇） (15)
- シリーズ こんな活動をしています（子育てひろば） (24)

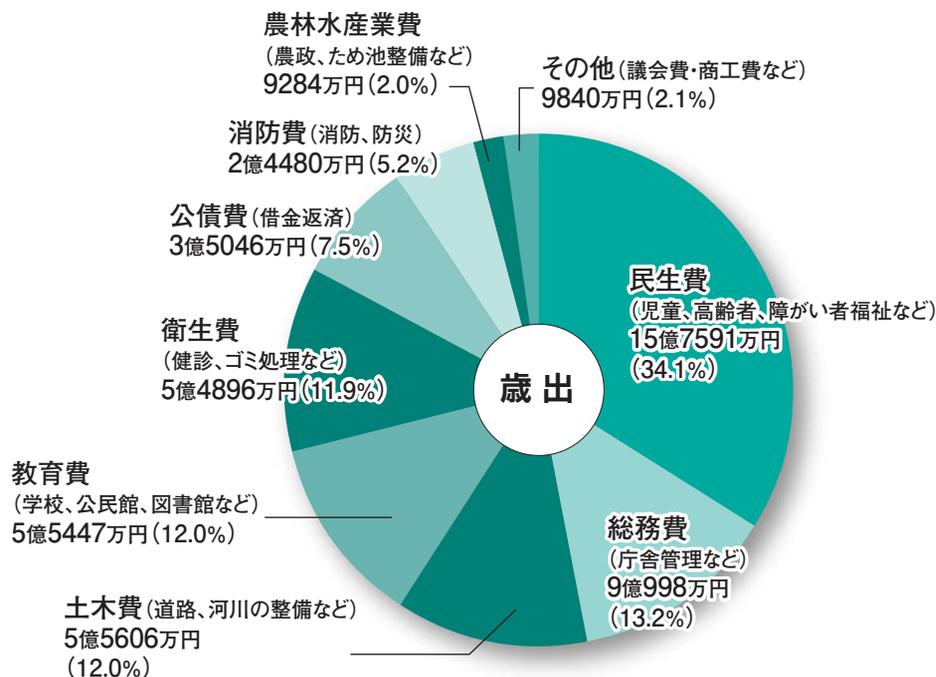
定例会

全会一致で可決

歳入総額 46億3188万円



歳出総額 46億3188万円



令和3年第2回定例会は3月5日から19日までの会期で行われました。議案は、条例の制定5件、一部改正が3件、令和2年度補正予算7件、令和3年度補正予算1件、令和3年度当初予算9件、工事請負契約の変更契約の締結1件、人事案件1件が上程され、すべて原案通り可決・同意されました。また、道路線の認定のうち1件可決、1件否決されました。

補正予算及び令和3年度当初予算については、予算決算委員会に付託され、審査を行いました。なお、一般質問には8人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

令和3年度
当初予算

一般会計予算

46億3188万円

令和2年度一般会計補正予算も全会一致で可決



満開の桜(つばきの丘運動公園)

令和3年度 当初予算

会計名	金額
一般会計	46億3188万円
国民健康保険特別	10億2902万円
介護老人保健施設特別	3000万円
介護保険特別	11億4724万円
後期高齢者医療特別	1億7208万円
水道事業会計	3億7977万円
公共下水道事業会計	7億4404万円
育英奨学資金給与特別	25万円
町営墓地特別	381万円

令和3年度 予算補正

会計名	金額 (補正額)
一般会計(第1号)	46億6955万円 (3767万円)

補正の結果

2月

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計(第8号)	67億7628万円	(1013万円)

3月

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計(第9号)	67億1494万円	(△6133万円)
国民健康保険特別	10億9063万円	(313万円)
介護保険特別	11億6450万円	(2655万円)
後期高齢者医療特別	1億7165万円	(100万円)
町営墓地特別	512万円	(△77万円)
水道事業会計		
収益的支出	2億6744万円	(△2万円)
資本的支出	1億 812万円	(△1万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億9103万円	(△3万円)
収益的支出	3億5229万円	(△3万円)
資本的収入	2億 584万円	(△3万円)
資本的支出	3億7658万円	(△3万円)

事業!

行います。

空家対策計画策定委託
550万円

空き家等の適切な管理を実施するための計画を策定します。

町駐車場管理委託
419万円

駅周辺の町駐車場の管理を、シルバー人材センタ―に委託するものです。

犯罪被害者等支援金
40万円

犯罪被害者等の経済的負担を、早期に軽減するとともに、再び、平穏な生活が営めるよう支援するものです。

まちづくり補助金
1058万円

各分館の活動に対し、一律額プラス活動内容に合わせて上乘せし、分館の活性化を図るものです。

ふるさと納税返礼事務委託
3896万円

納税額8千万円を見込んでの、返礼事務を専門業者に委託するものです。

高齢者福祉
2305万円

敬老会、ふれあい大会、高齢者タクシー料金助成等、高齢者福祉の向上を図るため、諸施策を行います。



預り保育(東幼稚園)



コミュニティ広場花壇(大原西)

保育所給付
3億1118万円

2園に対する法定内給付です。

小児医療費扶助
6011万円

0歳から中学3年まで医療費を無料とするものです。

保育園施設給付
3986万円

2園に対し、延長保育や障害児保育事業に対する補助並びに、法定外部分の援護費です。

障がい者福祉
3億1066万円

障がい者に対する医療費、就労支援、人工透析の支援等の補助を行うものです。



新築のバンダクラブ舎

令和3年度の 身近な こんな事業を

新型コロナウイルス 感染症ワクチン接種

3767万円

これから始まるうとしている、ワクチン接種の対応として、体制づくりのための費用です。

合併処理浄化槽 設置助成

589万円

下水道計画区域以外で合併処理浄化槽を設置する場合、補助要件があります。

生活支援員配置

3213万円

幼稚園・小中学校に生活支援員を配置し、学校生活や学習活動を支援します。全26人分の報酬です。

下水道整備

2億2719万円

高岡、手の際、干瓜の一部を対象に、下水道の整備を行います。
(企業会計予算です)

学童保育運営補助金

2320万円

児童の放課後における生活の場を確保し、健全な育成を図るため、東西小学校児童を対象に運営するものです。

有害鳥獣捕獲補助

255万円

イノシシ・ヌートリア・カラス等有害鳥獣の捕獲駆除に対する補助金です。

道路維持一般経費

2585万円

道路小修理・草刈り委託や、分館からの舗装等修繕、材料支給要請に対応します。

さとしよつ未来塾

425万円

「里ちゃん寺子屋」や「里ちゃんチャレンジワールド」を実施し、自学自習や体験活動を通じ、生きる力を育んでもらうことを、目指しています。

農業用施設整備

4222万円

ため池・農業水路改修の設計委託、水路等の改修工事に使われます。



イノシシ捕獲用罾(笠工作)

3月定例会

質 疑

▼会計年度任用職員費増額の理由

▼学校生活支援員費増額の理由

令和3年度当初予算に2人が質疑を行いました。

総 括

会計年度任用職員費の増は

正規職員2人増えたのは

仁科千議員 会計年度任用職員費が昨年より300万円ぐらい増えた理由は。

総務課長 人件費だけでなく色々ところで補助とか有利な起債を職員、庁内全体で研究しながらしている。

令和3年度以降の中期的な事業もある。

仁科英議員 正規職員が2人増えたのはなぜか。

仁科英議員 土地開発公社の借入金に対する町道里見229号線延長の債務保証はいつまで行うのか。今の状況は。

仁科英議員 総額992万円の減額はなぜか、職員配置はどこか。

総務課長 幼稚園の預かり保育の支援員、教師の業務アシスタント、部活動の指導者が会計年度に移り増えたため。実際には500万円程度の増加になると思う。

常々他市町村の状況、新しい施策に注視しながら職員は努力をしている。

持続可能な行財政運営のためには、財源のない事業はできるだけ控え、予算抑制の必要があると考え予算編成した。

仁科英議員 2400万円増えているが、学校生活支援員はどうなのか。

農林建設課長 面積で90%を取得。令和3年度中には国へ要望を上げる予定。

総務課長 人事院勧告の給与改定に伴うものと、積算した結果での減額。配置は、栄養士と給食の調理員。

仁科千議員 3年度の施策は少ないと思うが。

総務課長 施策が少ないとは感じていない。

負担金など、予算規模の大きい事業も計上している。

教委事務局長 生活支援員の数に変更はない。

令和4年度から実際に工事に入りたい。事業委託契約に基づき、公社から町が土地を買い戻す時点でこの借換えが必要なくなる。それまでは利子を含んだ借換えが単年で続いていく。

仁科千議員 これ以上人員削減はできないのか。補助で賄っていけないものはないのか。

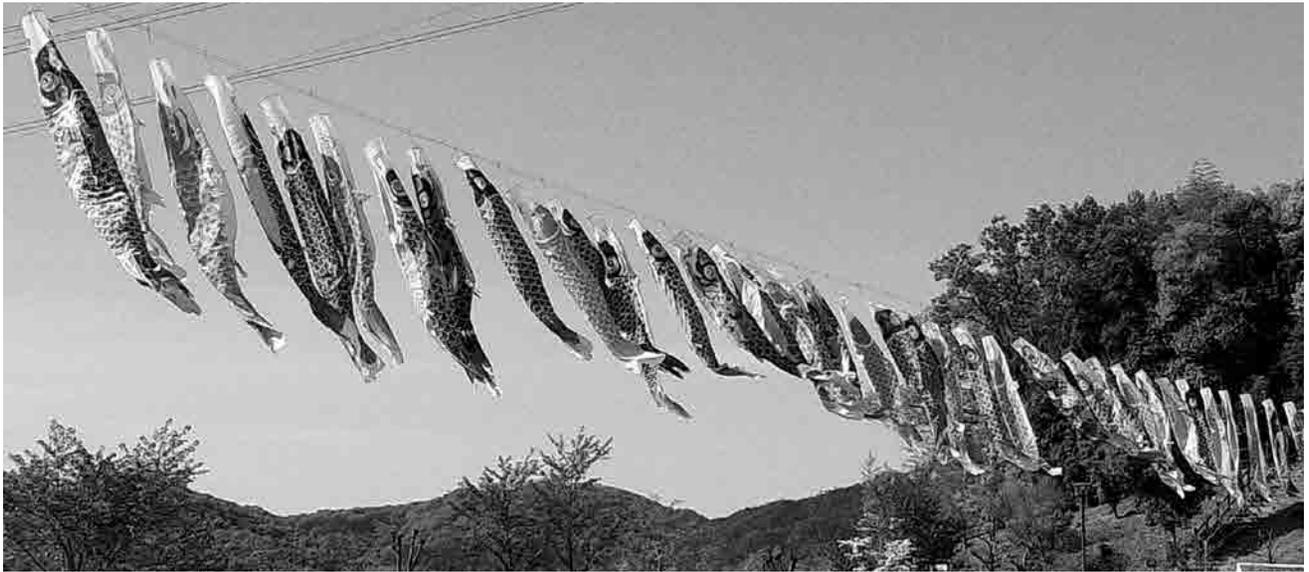
令和3年度当初予算に2人が質疑を行いました。

令和4年度から実際に工事に入りたい。事業委託契約に基づき、公社から町が土地を買い戻す時点でこの借換えが必要なくなる。それまでは利子を含んだ借換えが単年で続いていく。

令和4年度から実際に工事に入りたい。事業委託契約に基づき、公社から町が土地を買い戻す時点でこの借換えが必要なくなる。それまでは利子を含んだ借換えが単年で続いていく。

令和4年度から実際に工事に入りたい。事業委託契約に基づき、公社から町が土地を買い戻す時点でこの借換えが必要なくなる。それまでは利子を含んだ借換えが単年で続いていく。

令和4年度から実際に工事に入りたい。事業委託契約に基づき、公社から町が土地を買い戻す時点でこの借換えが必要なくなる。それまでは利子を含んだ借換えが単年で続いていく。



こいのぼり(つばきの丘運動公園)

令和3年度一般会計補正予算

体制づくりができてるか

岡村議員 会計年度任用職員人件費268万円は、何月から何月の採用か。仕事内容は。

健康福祉課長 2名で、4月1日から9月末を予定。

町長 庶務的なこと。医療的なことが必要であれば、プラス採用することも考えている。

岡村議員 コールセンターにはいろいろな問い合わせがあると思うが、どうするのか。

健康福祉課長 一般的な問い合わせの対応となる。

岡村議員 接種に対応できるように体制づくりができているのか。どういう計画なのか。

健康福祉課長 県と医師会と町でチームを組み連携して構築を進める。

町長 現時点でできることは進める方向で、契約・備品購入等の諸準備を進めていきたい。

なぜ補正予算で

佐藤議員 当初予算でなく、補正予算で上がったのは、なぜか。

総務課長 当初予算編成は額が大きく、早く締めたので間に合わなかった。

対象者の優先順は

仁科英議員 会場をどうするか、内容・準備状況は。

町長 会場設営した上で、スムーズな流れになるか考える。

仁科英議員 対象者の優先順位は。

町長 国・県が示したものに準ずる。

仁科英議員 里見川荘や社会福祉施設に Outreach、接種する考えは。

町長 訪問して接種することが、必要になってくる。町内の医者と相談しながら進める。

仁科英議員 社会福祉協議会の車を使い、送り迎えを考えては。

町長 送迎は考えている。社協の車を使うことは参考にする。

新型コロナワクチン接種券の送付について

65歳以上(令和4年3月31日時点)の方に、新型コロナワクチン接種券、ワクチンの説明書及び予診票等を令和3年5月9日(日)までに郵送します。
ご不明な点は、下記コールセンターへお尋ねください。

里庄町新型コロナワクチン

コールセンター

0120-606-567

月曜日～金曜日(年末年始・祝日除く)

8:30～17:15



町条例

制定

里庄町空家等の適切な理に関する条例

里庄町の空家等対策を明確にし、良好な生活環境の保全を図り、安心して暮らせる住みよいまちづくりを推進するため定めるものです。

里庄町空家等対策協議会条例

空き家対策を推進していくに当たり、空家等対策計画を策定し、必要な事項などをこの協議会の中で協議していくこととなります。

里庄町議会議員及び里庄町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

町村選挙における立候補者に係る公費負担の対象を拡大するものです。選挙運動用自動車、選挙

運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの公費負担の拡大について必要な事項を定めています。

里庄町予防接種健康被害調査委員会条例

予防接種法に基づく予防接種、その他の里庄町が実施する予防接種を受けた人に予防接種に起因するとと思われる健康被害が発生した場合に、医学的見地から調査審議を行うため、里庄町予防接種健康被害調査委員会を設置するものです。

一部改正

里庄町犯罪被害者等支援条例

犯罪行為で、不慮の死を遂げた人の遺族や、障害を負った人の経済的負担を、早期に軽減すると

ともに、これらの人が再び平穏な生活を営むことができるよう支援金を支給します。

介護保険法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

○里庄町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

○里庄町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

○里庄町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予

防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

○里庄町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

※全条例に共通
(抜粋)
利用者の人権の擁護、虐待防止の為、必要な体制整備。

資格を持つていない介護職員には、認知症介護基礎研修を受講させる。従業者に対する就業環境が害されないよう、方針の明確化等。

感染症対策の強化。
災害発生時における業務継続に向けた取組の強化。

夜勤職員、計画作成担当者等の配置基準の緩和。

質の高いケアマネジメントを推進するため、公正中立の確保を図る。会議や多職種連携におけるテレビ電話の活用などについて見直しされています。

里庄町介護保険条例

国で算出した基準額は5913円。
基金を3年間で約4000万円取り崩すことにより、町の基準額は5600円になります。4000円の増額です。県内では2番目に低い保険料となる見込みです。

所得割は、7・4%から6・0%に。
均等割は、2万3000円から1万8000円に。
平等割は、1万9000円から1万7000円になります。

里庄町国民健康保険税条例

基金の繰り入れを行い基礎課税額、いわゆる医療分の税率を引き下げるものです。1世帯当たり1割程度の減税効果があります。今回の措置は令和5年までです。



芝桜も満開です

質疑

条例の制定

規則で定める想定内容は

仁科英議員 特定空家等が危険な場合、撤去できるのか。

総務課長 最善の努力をして、最後は壊すことができる。

仁科英議員 費用を所有者等から徴収することができるかとあるが、所有者等がすぐに分からない場合、分かってからの請求ができるのか。

時効があるのか。
総務課長 所有者に出してもらおうのが当然。

徴収できないこともあることを規定している。条例・規則で定めている。時効は、法に基づいて進める。

仁科英議員 保全措置以外の諸経費も請求することができるとあるが、その経費とは何か。

総務課長 空き家対策計画に基づく施策に対して、財政上の措置が必要となる。

仁科英議員 条例の施行に関し必要な事項は規則で定めるとあるが、どういふ事を想定しているのか。

総務課長 助言・指導・勧告・命令など代執行する場合の様式的なことを規則で定める。

必要な庁内体制とは

高田議員 所有者等から費用を徴収することができるかとあるが、「徴収する」とすべきでは。

総務課長 所有者が確定できない場合や、亡くなっていた場合を考えると、規定を設けている。

高田議員 生活困窮状態とは、どういう状態か。具体的に書くべきではないか。

総務課長 事例は言えないが、ちよつと生活に困った程度ではない。

高田議員 財政上の措置を講ずるよう努めるとあるが、なぜ「講ずる」としないのか。

総務課長 想定外のことがあるから、経費的なことがかかり予算措置がいる。

高田議員 必要な庁内体制とはどういうものなのか。

町長 庁内で情報共有し、基礎調査をするのが庁内体制をつくっていくことで、最終的判断は協議会がする。

要綱を条例にする必要は

仁科英議員 必要な費用、請求、減免・時効等は協議会の事項になるのか。

総務課長 莫大な費用が、安全措置をするために要する場合は協議する。時効は規定に基づく。

仁科英議員 要綱を条例にする必要があるのか。

総務課長 条例にしないと、効力が薄いので、条例に制定する。

仁科英議員 必要が出てきた時、修正する考えはあるのか。

総務課長 新しく違ったことが起るときは、議員に相談する。



ほとくのクラスは

条例の一部改正

入居者に支障は

佐藤議員 一定の条件をクリアすれば、職員を3人から2人へ減らすことができる。減らすことで、入居者に支障はないか。
健康福祉課長 人員が減ることによって入居者に支障が出る場合は、町として削減する配置は認めない。

佐藤議員 里庄町に一つの階で3つのユニットがある施設はあるのか。
健康福祉課長 現在町内にはない。

佐藤議員 医療費を抑えるために利用サービスを減らしていくという方向に進むと思うが。

健康福祉課長 給付費の適正化を図るもので、適正な保険給付に努めたい。

経済的負担軽減の内容は

仁科英議員 経済的な負担を軽減するために、支援金を出すということだが中身は。

佐藤議員 電磁的記録とはマイナンバーカードと関係があるのか。
健康福祉課長 マイナンバーとの関連はない。

総務課長 岡山県の重点事業で、亡くなった人や、けがを負った人の支援で、生活の一助になるように、今回条例を改正して支援金の仕組みを取り入れた。規則で額は定めており、遺族支援金が30万円、傷害支援金が10万円。

一割に満たない世帯とは

佐藤議員 国保税改正で減額割合が1割まで引き下げられない世帯はあるのか。

佐藤議員 子どもに係る均等割りは、免除されているのか。
町民課参事 令和4年度から国の施策として、未就学児対象に半額制度があるので、今回は見送る。

町民課参事 介護分については、所得約50万円から、給与収入105万円、年金65歳以上で160万円の人が対象となる。

仁科英議員 県内の市町村ではどういう書き方をしているのか。

総務課長 大体同じような表現の条例になつてる。

仁科英議員 令和4年度までの事業だが、その後はどうなるのか。
総務課長 それ以降はわからない。

ここが反対！ 安全が確保できない

佐藤耕三議員

介護される人が増える中、職員が減れば、十分な安全が確保されると思えない。また適正なサービスを行うと言いながら、サービスの利用が多い人は利用回数を減らすことにつながる。

ここが反対！ 金額を上げずにできないか

佐藤耕三議員

コロナの下で多くの人から少しでも国保税や介護保険料を下げしてほしい、という声を聞いている。金額を上げずにできないか。



復旧工事が進む奥迫池(古井)

工事請負契約の変更契約

質疑

契約を延長し粘り強く交渉

仁科英磨議員 受信機の申込み数はどうすれば伸びるのか。

総務課長 ボランティアの協力や、アパートにもつけてもらう。

町長 災害に対する意識を高めてもらいたい。設置の促進に努めていきたい。

棄てるのか。

契約を延長し粘り強く交渉することはできないのか。顧問弁護士に相談したのか。

総務課長 協議を進めた中でこれ以上は難しいと思うている。どういふうに対応したらいいか相談した。

仁科英磨議員 笠岡放送施設分、1450台の取付けの経費負担は。
総務課長 予算を繰り越している中で、その中で令和3年度工事する。

仁科英磨議員 なぜ購入台数を4600から3100に変更し、1500放

質疑

町長 現時点で直接広島支店長もしくは本社の社長と話をしたことはない。今後本社を訪問し、協議したいと考えている。

仁科英磨議員 契約相手の広島支店長と里庄町のトップが話し合いをしたことはあるのか。

追加の場合

佐藤議員 3100台以上の追加が出た場合、返品した1500台の中から返してもらうことはできるのか。

総務課長 3100台で一応契約をしたい。その後の対応は町長が本社へ出向いて話ができるかと考えている。

ここが反対！ 町民に説明できない

仁科英磨議員

一番大きいところは、1500台を放棄し4000万円みすみす捨てる。契約の中身を検討し、交渉していく努力をすべき。町民に説明できない。

常任委員会報告

予算決算委員会

3月12日、15日、16日及び17日の4日間にわたり、令和2年度補正予算7議案、令和3年度当初予算9件を、関係当局の出席を求め慎重に審査しました。

- ①令和2年度補正予算は、全会一致で原案を可決すべきものと決しました。
- ②令和3年度里庄町一般会計予算については、賛成多数で原案を可決すべきものと決し、特別会計予算、水道事業会計予算、公共下水道事業会計予算については、全会一致で原案を可決すべきものと決しました。
- ③令和3年度里庄町一般会計補正予算については、全会一致で原案を可決すべきものと決しました。

建設福祉委員会

3月11日に委員会を開催し、担当課である農林建設課の案内で現地の調査及び確認を行い、慎重に審査いたしました。古井の団地内道路は、細い亀裂の修復を条件とし、認定すべきと決しました。

土井の団地内道路については、路面に大小の亀裂が数か所あり、これらの亀裂が修復された後でなければ認定できないとの多数意見で、不認定と決しました。

町道路線の認定

質疑

川の管理に支障は

高田議員 突き当たりの2か所は認定に入っているのか。

農林建設課長 個人所有の為認定に入っていない。

高田議員 今後、川を管理する上で支障が出る可能性は。

農林建設課長 管理上、問題ない。

臨時会

令和3年2月24日、令和2年度一般会計補正予算1
件が上程され、全会一致で可決されました。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の対応として、コールセンター設置、冷凍庫設置の委託料を
主とし、1013万円の補正案です。

質疑

集団接種の会場は

岡村議員 集団接種の場合、会場は。

健康福祉課長 個別接種と集団接種の併用だが、具体的にはまだ協議中。

岡村議員 医療従事者は、里庄町内に在住をしているのか、町外から来ている人も入っているのか。

健康福祉課長 医療従事者330人は国が示した

数字で、町内にいる医療従事者イコールではない。

岡村議員 混乱してはいけないが、対応は。

健康福祉課長 浅口医師会と共に考えている。

岡村議員 医療機関で断られた場合どうするのか。

健康福祉課長 浅口市と里庄町で協議をし、浅口医師会とも話をしている。情報を共有しながら進めている。具体的などころは言えない。

浅口・笠岡と協力を

平野議員 いつワクチン

が里庄へ来ても、高齢者医療者にも打てる体制を、一番にしなければならな
いと思うが。

町長 国、県の指示に従いながら、医師会、町内の医療機関とも協力をしながら体制づくりに努めていきたい。

平野議員 浅口市と協力

だけでなく、笠岡とも協力して欲しい。その点についてはどうか。

町長 どの医療機関でも、かかりつけ医で接種ができるように、現在進められている。

業者でなく職員で

佐藤議員 コールセンターの職員は、町内の事情が分からない業者でも、問題はないか。

健康福祉課長 問題はないと考えている。

佐藤議員 コールセンタ

ーでは、具体的にはどういったことを行うのか。
健康福祉課長 一般的な予約業務を行う。

佐藤議員 コールセンタ

ーで対応する人は特別な資格や知識が必要か。
健康福祉課長 特別な資格、知識は必要ない。

佐藤議員 かかりつけ医

がない人及び、かかりつけ医で受けられない人、基礎疾患のある人については優先的に受けることができるのか。

健康福祉課長 浅口医師会と協議中。

高齢者接種がまず4月以降行われる。

その後に基礎疾患を有する人を接種ということ。

佐藤議員 業者ではなく

でも、職員を雇ってではできないのか。

町長 新たなシステムを構築して入力作業するとか、ある程度ノウハウを持った業者が必要である。

職員で、できるだけ経費がかからないように取り組みたい。

高齢者のグループ分けは

仁科英議員 かかりつけ医が町外の人もいるが、どのように考えたらいいか。

町長 かかりつけ医の考え方は、町内の医療機関だけではなく、県内の医療機関はできる方向で進めていくと思う。

仁科英議員 医者、看護師、受付、事務の人、その体制は大丈夫か。

町長 浅口医師会や町内の医者とも話をしながら、できるだけ確実に接種ができる体制を取っていく必要があると考えている。

仁科英議員 高齢者はどのようにグループ分けを考えているか。

健康福祉課長 65歳以上の高齢者。

細分類化はしない。国で示されているので、

それに基づいて進めていきたい。

仁科英議員 接種券の送付は、一斉に送るのか。
健康福祉課長 一斉に接種券を送付する。

仁科英議員 ワクチンの使い残りについては、どう処理するのか。

健康福祉課長 県とも協議しながら、どうしたら漏れなくできるのか、浅口医師会とも協議しながら検討していきたい。

接種は予約が必要

藤井議員 電源設備の工事は間に合うのか。

健康福祉課長 間に合うタイミングで、工事はしなくてはいけない。

藤井議員 接種券に「コールセンターで予約が必要」と入れる予定があるのか。

健康福祉課長 コールセンターで予約が前提。当然コールセンターの明記をする。

藤井議員 16歳以下は接種の対象になっていない。だが、生まれ月によっては受けられる人と受けられない人が出る。何月の時点で16歳なのかという決め方があるのか。

健康福祉課長 16歳の人については、今の段階では不明。

傍聴に来ませんか

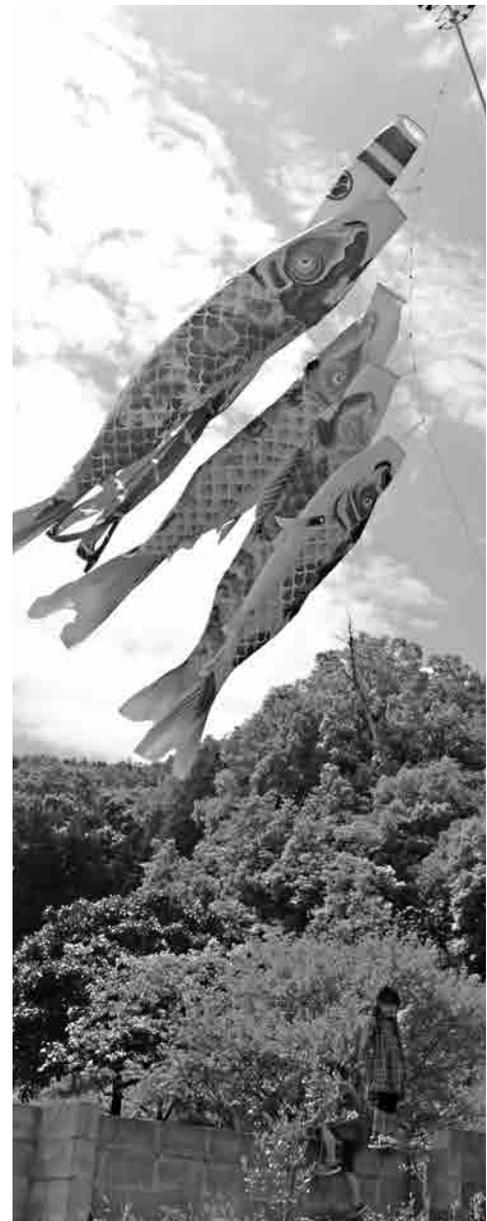
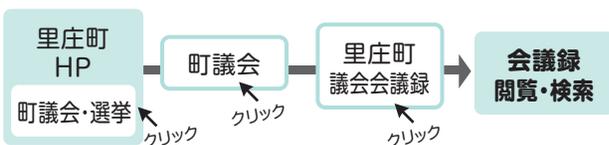
本会議は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。

自分の選んだ議員の活動や町の方針、考えを知ることができる場です。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

議会会議録は里庄町のホームページからご覧になれます。

<http://www.gijiroku.net/town.satosho/>



気持ちよく泳ぐこいのぼり

固定資産評価審査
委員会委員

里庄町大字新庄
中尾 明二氏

賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名		議員名									議決結果		
		平野敏弘	高田卓司	岡村咲津紀	小野光三	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	藤井典幸			
2月臨時会	議案第1号	令和2年度里庄町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第2号	里庄町空家等の適切な管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3月定例会	議案第3号	里庄町空家等対策協議会条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第4号	里庄町議会議員及び里庄町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第5号	介護保険法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	議案第6号	里庄町犯罪被害者等支援条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	里庄町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	議案第8号	令和2年度里庄町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第9号	令和2年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第10号	令和2年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第11号	令和2年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第12号	令和2年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第13号	令和2年度里庄町水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第14号	令和2年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第15号	令和3年度里庄町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第16号	令和3年度里庄町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第17号	令和3年度里庄町介護老人保健施設特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第18号	令和3年度里庄町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	議案第19号	令和3年度里庄町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第20号	令和3年度里庄町育英奨学資金給与特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第21号	平成3年度里庄町営墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第22号	令和3年度里庄町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第23号	令和3年度里庄町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第24号	里庄町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第25号	里庄町道路線の認定	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
	議案第26号	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第27号	里庄町予防接種健康被害調査委員会条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第28号	里庄町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第29号	令和3年度里庄町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第31号	工事請負契約の変更契約の締結	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決

(注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

8人の議員が登壇して質問!

仁科 英磨 議員.....16P

- ① 新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種
- ② 災害情報システムの整備事業

藤井 典幸 議員.....17P

- ① 資源ごみ専用収集庫

小野 光章 議員.....18P

- ① 新型コロナウイルスワクチンの接種対応
- ② 後を絶たないイノシシ被害

平野 敏弘 議員.....19P

- ① コロナ対策
- ② 出納室派遣契約
- ③ 町道等の修繕要望
- ④ スーパーの誘致

佐藤 耕三 議員.....20P

- ① ジェンダー平等社会における職員の採用と配属および昇格
- ② 仁科芳雄博士にちなんだ事業を
- ③ 新型コロナウイルスワクチン接種

高田 卓司 議員.....21P

- ① 戸別受信機の設置状況

仁科 千鶴子 議員.....22P

- ① 避難所に町民全員、避難できるのか
- ② 障がい者福祉に対する今後のビジョンは

岡村 咲津紀 議員.....23P

- ① 戸別受信機設置状況と防災サポ
- ② 子ども家庭総合支援拠点

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

3月定例会

一般
質問

町政を問う

検査の拡充等、県に働きかけて

町長／県は、今万全の対策をとっている



仁科 英磨 議員

問

新型コロナウイルスの感染者数は、2月末に緊急事態宣言が解除された大阪は、その前後から下げ止まり、よく見ると漸増傾向だ。

岡山県も、大きなピークの後、2月25日にはゼロとなったが、その後は毎日ずるずる続いている。感染経路が分からない割合が増え、また、感染力の強い変異株が出てきているのも、大きな問題だ。

町長

岡山県も、もう一段と強力な対策をとる必要があるのではないかと。1都3県の非常事態宣言の延期、ワクチンの確保と、政府は一生懸命取り組んでいる

と私は考える。

国民一人一人がしっかりと取り組むことも必要。

問

岡山県は、今日からGOTOイ

ートを再開したという。商工政策はもつと違つた形ですべき。

ブレーキとアクセルを一緒にかけては、両方も目的を達せない。

町長

PCR検査の拡充強化と、隔離・治療体制の強化について、岡山県も考え方を改めてやっていくよう、県に働きかけては。全てを止めてしまつては、血液は流れない。利用する人の取り組み姿勢が一番大事。

問

緊急事態なのだから、生活費は

ちゃんと手に入るようにするが、感染につながるような活動はしないということをきちつとすべき。両方一緒にやつては、効果はない。

町長

PCR検査については、里庄での最近の2例を見て、現場からも言った方がいいと思つて言っている。県は今万全の対策をとっている。県の方針をしつかり信頼しながら、それに基づいて、町の対策も取つていきたい。

問

町の施設の水道の水洗レバーなどのアルコール消毒を頻繁にすることについて、清掃契約の検討はどうなった。

総務課長

清掃事業者が行う場合、年間約100万円の追加が必要と分かつた。今までどおり、職員が助け合つて消毒していく。

問

ワクチンの接種は、老人福祉施設の入所者や職員、ホームヘルパー、学校の先生なども優先しては。

健康福祉課長

国の考えに基づいて進める予定。

問

集団接種は、東公民館、西公民館でもできないか。

町長

医師会等とも調いい。整し、検討したい。

問

戸別受信機の設置状況は。

総務課長

2月24日現在、設置希望2139件。笠岡放送を見ている世帯が1885、戸別受信機だけが254。

問

戸別受信機の設置と、テレビの設定変更による電気代は。

総務課長

戸別受信機は、1時間に約5Wの電力を消費するので、1日約3・24円、1か月約97・2円かかる計算。テレビをクイックスタートにする必要はない。

問

5Wは何もしない時。放送を流したら上るのは。クイックスタートとそうでない場合で、立ち上がり時間などに、どの程度差があるか。

総務課長

災害時の緊急情報で、数秒程度、ワンテンポ遅くなるだけ。

戸別受信機設置による電気代は

総務課長／1か月約97円

藤井 典幸 議員



ごみの減量化は

町長／町の重要な政策課題

問

ごみの減量化及びリサイクルを推進するため、資源ごみを常時持込みができる施設として、平成28年12月に町内3か所にストックヤードが設置されたが、設置後の可燃ごみや不燃ごみの収集量の変化はどうか。

町長

平成28年度と令和元年度の収集量を比較すると、燃えるごみは80・63トンの減。燃えないごみは、29・03トンの減。

問

資源ごみの収集量の変化は、資源ごみ及び、ごみステーションで収集した物も含めて、平成28年度と比べて、令和元年度は約90トン増加。

町長

資源ごみの収集量の変化は、資源ごみ及び、ごみステーションで収集した物も含めて、平成28年度と比べて、令和元年度は約90トン増加。

問

収集できない物がストックヤードに入れられている。どのような物なのか、代表的な物は、ハンガー、スプ

町長

代表的な物は、ハンガー、スプ

レー缶、化粧品の瓶など。収集できる品目や状態でも、混在状態で入っていたり、収集ルールと異なつた出し方をされていることがある。

乾電池や蛍光灯など、家庭から出た水銀排製品は町民課窓口で回収をしている。

乾電池や蛍光灯など、家庭から出た水銀排製品は町民課窓口で回収をしている。

乾電池や蛍光灯など、家庭から出た水銀排製品は町民課窓口で回収をしている。

問

電気毛布などは燃えないごみでも小型家電でもなく、ごみとして処分ができないと聞いているが、どのような物が処分できない物なのか。

町長

処分できない物が幾つかある。電気毛布、電気カーペット、スプリング入りマットレスなど。販売店等にご相談いただくようお願いしている。

問

町のホームページは、利用者から見れば非常に検索しにくい。

検索しやすい、分かりやすい掲載方法が町民のために必要だと思うが。

ホームページでのごみの出し方は、必要ときに探すのが難しいという指摘もあるので、近隣市町等を参考にしながら検討していきたい。

ホームページでのごみの出し方は、必要ときに探すのが難しいという指摘もあるので、近隣市町等を参考にしながら検討していきたい。

ホームページでのごみの出し方は、必要ときに探すのが難しいという指摘もあるので、近隣市町等を参考にしながら検討していきたい。

問

24時間365日出せる利便性は損なわれるが、休祭日及び夜間は施錠したらどうか。

町長

またどのような取組をすれば、収集できない物の放置が減ると思うか。役場前のストックヤードの管理運営を土日祝日の一定の時間、委託することを考えている。

出された物の確認等を行うことで、違反物を出さないよう抑止効果があると考えている。休日、夜間等の人目のない時間の施錠、監視カメラの設置等も効果的と

考えているので、周期期間を置いた後に実験的に行うことを考えており、最小限の手間、費用で効果的な収集ができるよう、近隣自治体の取組も参考にしながら対策を進めていきたい。

町長

町民は適正な分別に取り組んでくれている。その結果、資源回収量の増加やごみの減量化につながっている。

ごみの問題だけではなく、水質、騒音、大気汚染などの環境問題全体も含めて、今後ごみのリサイクルや減量化、正しいごみの出し方についての周知啓発に努めていきたい。

問

ごみの減量化は、町民の協力なくして実現しない。ごみを出すのは町民だが、出しやすい環境をつくるのは行政だ。町民と共に、どのようにごみの減量化を進めていくのか。

ごみ処理は町の重要な政策課題として積極的に推進していきたい。



ごみ減量化・リサイクルポスターコンクール(最優秀賞)

接種場所はどの

健康福祉課長／健康福祉センターで



小野 光章 議員

問

ワクチン接種事業に対して、どのような体制で考えているのか。

健康福祉課長

会計年度任用職員配置、また専用のコールセンターを開設する。

問

業務の区分の考え方は。

健康福祉課長

コールセンターの役割は、接種の予約の日程等の受付や、基本的な問合せ等を委託をして、対応をする。職員については、具体的にはこれから。

問

実際ワクチンが来たときに対応が取れるのか。

健康福祉課長

準備を進めている。

問

接種場所はどこで行うのか。

健康福祉課長

個別接種については、医師会をまたいでの接種対応はどうなる。

問

もし接種が始まったら、どのくらいで終わるのか。

健康福祉課長

今検討中、まだ見通しが立たない。

問

ワクチン2回接種は、始まってから大体どのくらいで里庄町民、対象者が終わるのか。

健康福祉課長

岡山県、浅口医師会と調整して検討をしたい。

捕獲数の差、どこに原因

農林建設課参事／猟友会と協力して

問

昨年における浅口市と里庄町の捕獲数、1頭当たりの助成金は。

農林建設課参事

浅口市578頭、2万1000円

里庄町は36頭、2万4000円

浅口市よりも当町のほうが3000円多く支出している。

問

捕獲数において、かなりの差がある。原因は。

農林建設課参事

山林の面積に約7倍の開きがある。捕獲従事者の数も異なるなどが要因と考えられる。

問

本気で捕獲に取組もうとしているのか。

農林建設課参事

平成30年度からイノシシの捕獲補助単価を1万円から1万3000円に引き上げている。

笠岡工業高校に依頼しイノシシ用の箱わなを作

問

成し、地域に餌づけを協力してもらい捕獲を試みるなどの新しい取組も実施しながら、積極的に捕獲対策を実施している。もう少し奮発して、取り組んだらどうか。

農林建設課参事

猟友会との関係力をしながら取組をしている。

補助金の増額については、少し様子を見させてもらいたい。

会員を獲得するため、狩猟免許取得の補助金制度を創設する。

農業従事者自身による自己防衛も必要。侵入防護柵の設置に対する補助制度も今現在している。

捕獲については、猟友会との協力体制が大事。

今後話をしながら協力体制を取っていきたい。

平野 敏弘 議員



新型コロナの情報

総務課長／発生状況は県が行う

問 感染者の発生情報。確認時に、町のホームページに掲載している。

総務課長 個人のプライバシーに配慮し可能な限り情報を町民に伝えたい。

問 患者の発生状況は、県が行い、その情報をホームページに掲載し、新聞や笠岡放送に流している。

総務課長 ワクチンの対応と、接種体制は、今のところ未定。

健康福祉課長 5月に成人式を予定しているが基準は、全国の感染者の状況や感染予防対策が可能であるかを基準にする。

問 町内には道路や水路が多数あり、年間数多くの修繕の要望が各分館からある。年間どれくらいの件数なのか。

農林建設課長 平成29年度が135件、30年度は116件、令和元年度は127件、令和2年度は114件である。

問 要望件数のうち、直したり造ったりしたのは、

農林建設課長 平成29年度が92件、30年が82件、令和元年度は、82件、令和2年度76件。

ため池斜面の草刈りは

農林建設課長／地元で対応

問 草刈りを1か所すれば、全て町が草刈りをするにもなるので地元で対応してもらいたい。

農林建設課長 草刈りの要請があれば町は受けたい。

農林建設課長 緊急度や町内のし、予算の範囲内で優先順位をつけ、修繕等実施する。

問 地元でできる小規模な工事は、町が原材料を補助する制度を知らない人が多い。

農林建設課長 分館長会議等で材料支給制度について積極的に周知している。

問 中銀の手数料値上げで、住民票の発行手数料など町民に負担はないのか。

問 手数料の値上げはいつからか。

問 手数料の安い金融機関があれば、変えたらどうか。

問 他行に変更する考えはない。

問 中国銀行から手数料の値上げ要請があった。年間の支払い額は、

問 令和元年度は1件当たり20円、令和2年度より1件当たり30円で、33万円程度。

問 出納室の中国銀行窓口業務はいつまでか。

問 令和5年の3月末で廃止の意向。

中銀の窓口業務は

会計管理者／令和5年3月末まで

問 中国銀行から手数料の値上げ要請があった。年間の支払い額は、

問 令和元年度は1件当たり20円、令和2年度より1件当たり30円で、33万円程度。

問 出納室の中国銀行窓口業務はいつまでか。

問 令和5年の3月末で廃止の意向。

問 中国銀行から手数料の値上げ要請があった。年間の支払い額は、

問 令和元年度は1件当たり20円、令和2年度より1件当たり30円で、33万円程度。

問 出納室の中国銀行窓口業務はいつまでか。

問 令和5年の3月末で廃止の意向。

問 中国銀行から手数料の値上げ要請があった。年間の支払い額は、

問 令和元年度は1件当たり20円、令和2年度より1件当たり30円で、33万円程度。

問 出納室の中国銀行窓口業務はいつまでか。

問 令和5年の3月末で廃止の意向。

問 中国銀行から手数料の値上げ要請があった。年間の支払い額は、

その他の質問
Q 駅前スーパはA公表できる時期を待つ

女性管理職増やす考えは

総務課長／ふさわしい職員は登用

問

職員採用でジェンダー平等の点で配慮していることは、男女関係なく能力や適性など、職員としてふさわしい人材を採用している。

総務課長

職員採用でジェンダー平等の点で配慮していることは、男女関係なく能力や適性など、職員としてふさわしい人材を採用している。

問

管理職の人数と女性管理職の数と、女性管理職を増やす考えは。

総務課長

管理職26人女性管理職は5人。ふさわしい女性職員は当然登用する。

問

新採用の配置先の決定や配置転換など留意している点は、新採用の場合、希望を取って配

総務課長

新採用の配置先の決定や配置転換など留意している点は、新採用の場合、希望を取って配

問

なぜ職員が途中退職するのか。家族の介護、トラバーク、体調不良、職務に適応できなかった等。

総務課長

なぜ職員が途中退職するのか。家族の介護、トラバーク、体調不良、職務に適応できなかった等。

問

誇りと責任を持つて取り組めば仕事の喜びを感じる。そのことが町民サービス向上の力になると考える。執行部には先頭に立って頑張ってもらいたい、一言。

町長

やりがいを持ち仕事をすることがサービス向上につながる



佐藤 耕三 議員

平和に関する事業の考えは

町長／事業目的とは趣旨が違う

問

仁科博士が学会副会長の時、「科学技術の研究を軍事に使用しない」という声明を出したことは価値がある。

仁科博士の遺志を継ぐ意味でも平和に関する事業を考えては。

町長

仁科財団の事業の目的とは趣旨が違うので考えていない。

問

ワクチン接種により、重度の副反応や障害が出た場合の責任、補償は。

町長

予防接種法に基づく健康被害救済制度があり、救済給付に係る費用は国が負担する。

問

コールセンターへの相談はいろいろあると思う。特別な知識がなくても的確な対応は。

問

集団接種にむけた訓練は行うのか。

健康福祉課長

実地体験、シミュレーションは現在未定。

他の自治体を参考にし、どのくらい時間がかかるか想定していく。

問

実際にやらなければ課題は出ない。避難訓練はやっている。ほかの自治体を参考にすれば避難訓練も必要ない。どうか。

町長

会場設営をする段階で一連の流れ的なもの、接種後の待機する所の設営や何か起きたときの対応などを想定したものはやる。

スムーズな流れをつくるよう準備することは当然のこと。

集団接種にむけた訓練は

健康福祉課長／現在未定

高田 卓司 議員



数千万円の無駄ではないか

町長／引き続きお願いしていく

問

災害情報伝達手段整備事業について尋ねる。

災害を防ぐには迅速に、正確な情報を町民に伝え、避難することが一番である。その方法として、今回の事業がある。

分館放送を役場で起動させ放送する。そして笠岡放送の回線を使って各家庭のテレビに瞬時に流れる。

又、回線が切れた時の為に各自の持っているスマホに情報が伝わる、という事業である。

今回の事業費は3億円であるが、国の補助と町の持ち出しは幾らか。

総務課長

緊急防災・減災事業債を使っており国が7割、残り3割の9000万円が町の持ち出しである。

問

2月24日現在の戸別受信機の設置世帯数は2139件との報告があったが、当初の報告があつたのか。

総務課長

迅速に、正確な情報を町民に伝えるにはどうしたらいいかと考え、今回の戸別受信機の設置事業を考え、想定はすべての町民に伝えるという目的で、全世帯設置の考えで進めている。

笠岡放送の回線を利用して家庭のテレビに情報を送るので、笠岡放送を見ている3100世帯、そして笠岡放送を見てない1500世帯の合計4600台で進めてきた。

問

独り暮らしの携帯電話も持っていない人、難しい操作ができない人、他人に家の中に入られたくない人、2世帯の家庭等が相当数いると考えられる。

この受信機を発注するときに100%の設置予定で4600台注文するのは計画が甘すぎる。費用対効果を考えるべきである。

このような想定は当初

から無理である。

通常ならば当初はすくなく目注し、不足したら追加注文するのが普通である。

この戸別受信機は市販品なのか、それとも里庄独自の別注品なのか。そして返品はできないのか。

総務課長

そういった独自性とかはない。その他はその後、説明をしますので控えさせてほしい。

問

もし返品が利かないとなると半分の2000台以上残る。予備というわけにはいかないでしょう。

数千万円（1台2万3000円）の無駄である。これも税金なんです。

今まではあらゆる方法で再三お願いをして2100台でしょう。今後何台設置できると考えているのか。

又、受信機をつけない家にはどうするのか。

総務課長

公助として高齢者の世帯には特に設置をお願いし早目の避難ができるようにしたい。

令和3年度も高齢者の人に民生委員、あるいはボランティアつばき会の配食サービスの人たちに話をしていただき設置を進めたい。

問

災害時に耳の聞こえない人、いろいろな理由で戸別受信機を設置しない人には、どのような連絡方法をとるのか考えるべきではないか。

一つの提案だが、各地区に自主防災組織があるのでこれを利用してはどうか。

要援護者がどこにいるか。誰が安否確認に行き誘導するか日頃から訓練するようにはどうか。

町長

行政としては、どのような立場でどのような支援をしていけるかということを普

段から十分認識して準備しておく必要がある。

H30年の豪雨災害時に情報伝達がスムーズに行かなかつた経験を情報伝達整備事業に生かし取り組んでいる。

高齢者の方が家に入つては困る、嫌がるということとは想定していなかった。

数年かけて全世帯設置を目指し、この台数で進めてきた。繰り返しお願いをしていきたい。

問

地域の防災組織が住民にとって一番たよりになると思う。防災組織を生かして働かせるために運営の補助金をもう少し増やしてほしい。幾らかの運営資金を考えてはどうか。

総務課長

自主防災組織の中で地域の話ができることが大事と思う。少し研究したい。

災害時応援協定、何社あるか

総務課長／企業6社7件



仁科千鶴子 議員

問 今後戸別受信機の予定は。

総務課長 いろいろな手段を尽くしてきた。

4月から本格的に質の高い情報を流すことが、非常に大切。戸別受信機は、有効で便利だと情報発信をしていきたい。

問 指定緊急避難所、指定避難所に町民全員が避難できるのか。

総務課長 指定緊急避難所は6845人、指定避難所は1万2900人。1人当たりのスペースは2平方メートル。

問 災害時応援協定では、何社あり内容は。

総務課長 町内企業6社7件。避難所は、

国定病院170人、浅口商工会125人。岡山カーボンに段ボール製品・簡易ベッド、萩原工業にブルーシート、土のう、

社協に要配慮者の人を四つ葉の家に20人協定を結んでいる。天野実業とは、平成25年に避難所240人・食料物資2つの協定を結んでいたが、会社名が変わりアサヒグループと協議中である。

問 ガイドブックに町民が行ってすぐ受け入れてくれるのか。

総務課長 最終の手段であり、行政と企業

が調整して、避難することになる。臨機応変に町が指示を出していきたい。

問 災害廃棄物処理について計画はあるのか。

町民課長 令和元年度に里庄町災害廃棄物処理計画を策定している。

いろいろなケースが想定され、発生量・必要な仮置場の面積・条件等は記載している。候補地は幾つか検討しているが、今の時点ではまだ公表できる状況ではない。

問 どんなビジョンを持ち、候補地を探しているのか。

町民課長 リサイクルについても実施するように計画している。仮置場を設置するには、広さ・交通・町民や他の人への妨げにならない場所と想っている。

放課後デイサービスの計画は

町長／条件をクリアして進めたい

問 第6期里庄町障がい福祉計画、第2期里庄町障がい児福祉計画。その計画の中には、放課後等デイサービスはあるのか。

町長 見込み量を確保するために、方針について記載してある。小学校3年生以降の放課後等デイサービスの提供ができるような体制を取っていききたい。いろいろな条件をクリアして進めていきたい。

問 障がい者福祉に對して、今後のビジョンは。

町長 自分の力で、生きていく力を養っていく取り組み、長生きがいを感ずるような施策が必要。サービス機関と協力し、広域で取り組んでいく。

問 ことばの教室は金光にある。理学療法士が言語を指導ま

ないのか。

健康福祉課長 言語聴覚等に関する事業は、今のところ考えていない。

教育長 近いところにあると、行きたいという子どもがいることは承知している。今後、増える可能性がある。視野に入れて考えていかなければならない。

問 理学療法士＆言語聴覚士・作業療法士がいればベスト。その考えは。

町長 理学療法士は様々な事業を今現在実施しているので難しい。

問 事業として何を考えているのか。放課後等デイサービスの需要は高い。喫緊の課題として考える。

岡村咲津紀 議員



戸別受信機は必要か

総務課長／目と耳で情報を得る

問 戸別受信機は町制施行70周年記念事業である。

自主防災組織へどのような依頼をしたのか。

総務課長 自主防災組織の代表に、12月に保健センターに集まってもらい、チラシを配り一人でも多くの人に説明してもらおうよう依頼した。

問 災害の場合、テレビに勝手に情報が流れるのか。

総務課長 受信機の赤ランプは、テレビの主電源が入っていれば、他の番組を見ていても、災害情報が瞬時に画面に映る。

問 スマホの防災アプリは、どこにいても情報が流れる。戸別受信機は必要なのか。

総務課長 スマホの情報は、文字だけの情報である。戸別受信機は、テレビの画面に音声と映像がな

がれ、目と耳で情報を得ることができる。

虐待の経緯や原因は

健康福祉課長／ストレスや、生活の貧困

問 子育て世代包括支援センター及び

び子ども家庭総合支援拠点、妊産婦から18歳までとかなり幅があるが、どのような体制なのか。

健康福祉課長 子育て世代包括支援センターは、妊娠期から出産直後、子育て期までの母子保健及び育児等に関する様々な相談に応じている。子ども家庭総合支援拠点は、要支援児童及び要保護児童等への支援、学校や児童相談所との関係機関との連絡調整など、要保護児童対策調整機関の役割を担いながら、子ども家庭支援全般に係る相談等の対応を行い、2つの機関が分担・連携を

問 子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点は、妊産婦から18歳までとかなり幅があるが、どのような体制なのか。

健康福祉課長 子育て世代包括支援センターは、妊娠期から出産直後、子育て期までの母子保健及び育児等に関する様々な相談に応じている。子ども家庭総合支援拠点は、要支援児童及び要保護児童等への支援、学校や児童相談所との関係機関との連絡調整など、要保護児童対策調整機関の役割を担いながら、子ども家庭支援全般に係る相談等の対応を行い、2つの機関が分担・連携を

問 要支援、要保護を必要とする児童や幼児はいるのか。母子健康は、相談だけではなく、専門的な解決のために医師等に相談するよ

健康福祉課長 要保護児童対策調整機関として児童相談所、保健所、教育委員会などと連携して情報の共有を図り、個別の事例を取り上げて、関係機関で対応の流れや支援方法を共有して、強化している。

問 開設以来、専門家や医師、児童

相談所へ送らないといけない案件があったのか。

健康福祉課長 虐待の通告件数が15件、対応の児童数は35人で身体的虐待が6人、ネグレクトが16人、心理的が13人である。

問 虐待に至る経緯や原因をどのよう

健康福祉課長 個別支援の過程の中で子ども、保護者、関係者及び支援機関から情報の収集を行い、把握している。

問 虐待に至った経緯は。

健康福祉課長 家族間のストレスや、生活の貧困が挙げられる。

問 児童のひきこもりや不登校、長期欠席者の件数は。

問 専門的な知識を得るため、職員研修会の参加は。

健康福祉課長 担当職員が、県の研修会に参加し受講した。町民向け研修会は、令和2年度は新型コロナウィルスの影響に伴い、未実施である。

問 虐待を、しつこくと思っている場合があるが、どのように指導するのか。

教育長 実際に近所の方が、幼・小・中学校に虐待ではないかという通報があり、子どもの身体に虐待が疑われることもある。子ども達の様子を毎日見ている教職員は、違いが分かるので、必ず校長を含めて相談し、家庭に連絡を取り、健康福祉課の保健師等を含めて情報を共有し対応している。

子育てひろば

●げんキッズ
●フレンズ

◆げんキッズ◆

子育てひろば「げんキッズ」は、「子育ては、不安がいっぱいと、一人で悩んでいる人」、「お友達が欲しいなって思っている人」、「安心して遊ぶことが出来る場所がないかしら」と思われている人、などが、保護者と子どもと来てホッと息抜きできる場所、人と人が出会う場所です。

子ども達は、広い場所でのびのび遊び、保護者は、お子さんを見ながらおしゃべりを楽しんでいます。子育てひろばは、時間内なら、いつ来て、いつ帰ってもいいひろばです。おなかの赤ちゃんから、子育て中の人、障がいのある人、どなたでも無料で自由に出入りが出来る場所です。あわただしい

子育ての中で、ホッとひと息つける場所です。

保護者の人達は、同じ年齢のお子さんの「あるある」を話して笑いあっています、子育てについて話し合ったり、職員やボランティアの人に話を聞いてもらっています。

一人で子育てを抱え込まないでください。あなたのまわりにはたくさん仲間がいます。同じように悩んでいる人もたくさんいるはずですよ。

ぜひ一度でいいので遊びに来てみてください。

◆フレンズ◆

「いらっしやい」「ニコニコ顔の支援員。「抱っこ!」「抱っこ!」と駆け寄る子どもたち。そんな子育てひろばを見守るフレンズの会員は、現在

27名。シフトを組んで見守り活動をしています。昨年は、子育てひろばが開設して10年目。新型コロナウイルスが発生し運営は、検温と手洗い、記録。最後はおもちゃの消毒や部屋の消毒。コロナ対策をとりながらの運営に、親子は安心して広場を利用している様子。令和3年度は、会員が「外遊び」を計画。4月は「公園で遊ぼう!」、7月は「水遊び」。そして研修では、子どもの健康について、にいつ耳鼻科の先生によ

る話。事故予防は、日本赤十字による話。発達障がいの子どもの関わりは、子ども療育センターの園長先生の話。研修で得た学びを活動に生かし、子育ての喜びを味わいつつボランティアの活動を高めたいです。



《第104号》

令和3年4月30日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.lg.jp

コロナに負けるな!

●あとかぎ

近々ワクチン接種が始まりそうです。皆さん揃って、接種してコロナから自分を守りましょう。山々も青葉に覆われ、心が落ち着く時節となっています。安心して暮らせる日を早く取り戻しましょう。議会だよりや、議会に対してご意見ご要望がありましたら、ご遠慮なく議会事務局にご連絡下さい。

(小野)

編集委員

委員長:小野光章 副委員長:藤井典幸 委員:仁科千鶴子 委員:佐藤耕三



令和3年第4回定例会は6月7日(月)から始まる予定です。